

# 6月5日 4年生 総合「万博リーフレットをつくろう！」

## 🌱 ねらい

万博をテーマに、自分なりの問いをもって調べ、伝える力を育む。(まだ行ったことのない保護者に伝えよう)

## 🧠 活動の流れと子どもの様子

### ① 問いを決めて、チャートで広げていく

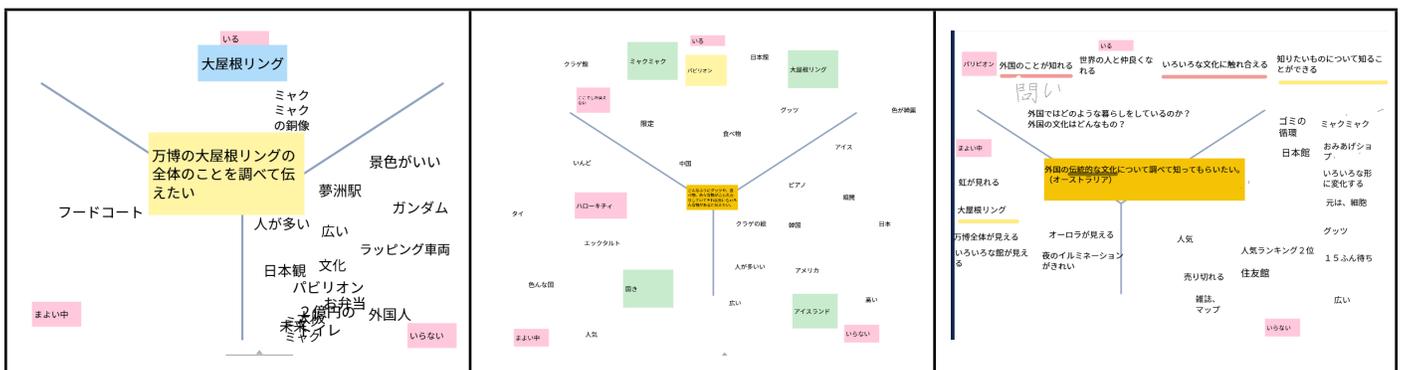
「なぜキャラクターはミyakumiyakuという名前なの?」「万博には何人くらいの人がかかわっているの?」など、子どもたち自身が問いを立て、それを深めていく作業に取り組みました。

→「これとこれ、つながってるかも!」と、関連づけて考える姿が見られました。

### ② Y字チャートで整理する

出したカードをY字チャートを使って、「いるもの」「まよっているもの」「いないもの」の3つに分けて書き出し、自分の思考を整理する時間を取りました。

### 📷【写真①】児童のロイロのY字チャート

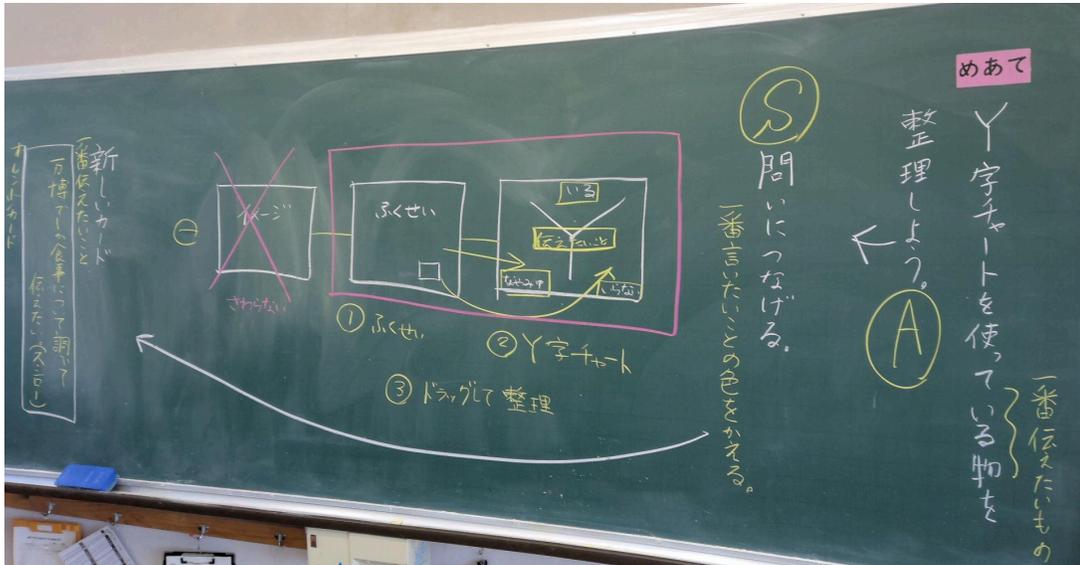


→ いままでアイデアが散らばっていたものを自分のリーフレットに入れるものと、そうでないものに整理する作業が、一番頭の中で思考している瞬間かもしれません。

### ③ ポイントを振り返って、情報を追加

チャートを見直し、「中心になるテーマ(問い)」が大きすぎるもの(ミyakumiyakuについて、食べ物について、楽しさなど)は、何を伝えたいかはっきりしません。児童の問いの例を出し、「万博のスタッフは何人くらいいるの?」「万博の食べ物・スシロー未来型について知りたい」など、調べたいテーマや問いを具体的にすることを改めて説明し、必要な児童は再度考え直しました。

## 📷【写真②】学習の板書



### 👉 ふりかえり

自分の問いを軸に考えることで、学習への主体性が高まりました。Y字チャートは思考の分類化として有効で、子どもたちの視点の違いや広がりを可視化するのに役立ちました。

私もあまり有効な活用方法を知らないなので、ぜひ泰山先生に教えていただきたいところですね。先日、部会で紹介させてもらった「シンキングカード」も活用できそうなら、使ってみてください。

 整理のスキルカード.pdf

あくまでも、使うことが目的ではなく、思考の整理の手段としてです。

せっかくなので、Y字チャートについてもAIさんに整理してもらいました。(以下)

### ✨ Y字チャートってなに？どうつかうの？

Y字チャートは、「わたしが知っていること」「知らないこと」「知りたいこと」など、3つの方向に分けて整理する道具です。

まんまかにテーマをかいて、そこから考えや思ったことを広げていくことができます。

### 👁️ どうして使うの？

Y字チャートは、

- 「なんとなく知ってるけど、ちゃんとは分からない」
- 「調べたいけど、どこから始めたらいいか分からない」と感じているときに、とても役に立つよ！

使うと...

- ✓ いまのじぶんの考えが見える
- ✓ 友だちと見くらべることで、新しい気づきが出てくる
- ✓ 「ここから調べてみよう！」という次のステップがわかる

 どうやって使うの？

たとえば「万博ってなんだろう？」がテーマだったら...

分け方	かくことの例
✓ 知っていること	万博はお祭りみたいなイベント。キャラの名前はミャクミャク。
? 知らないこと	万博って何年にあるの？ どこでやるの？ どんなことをするの？
★ 知りたいこと	どうしてSDGsとつながっているの？ 外国の人はどんなブースを出すの？

 ロイロノートや紙に書いて使えるよ！

 先生からのポイント

- 「どれだけ書けたか」よりも、「自分の“？”が見つかること」が大事！
- 友だちのチャートを見ると、自分の知らないことや気づきがふえるよ！
- Y字チャートは、学びのスタート地点。「考えるきっかけ」としてどんどん使ってみよう！

 広めるためのおすすめ活用シーン

- 単元の導入(社会・理科・総合・国語の説明文など)
- 調べ学習の前に「じぶんの問い」を見つける
- 授業後のふりかえりや次時のめあてづくりにも応用可能！